



## 食農教育活動

～今が終息したら皆で収穫して食べようね～

食農教育の一環で、今年も市立湊城西小学校5年生を対象に農業体験学習を開催する予定でしたが、コロナ禍で臨時休校中の児童たち。

女性部能代支部では、いつでも農作業体験を再開出来るように、JA営農部に隣接する圃場で土を耕しマルチを張り、ジャガイモの定植作業を行いました。

佐々木女性部長は「児童たちと定植作業が出来ず残念だったが、収穫の時は一緒に楽しみたい。」と話してくれました。



## 「畑の学校」を開講

～女性部能代支部～



女性部能代支部のサークル活動として「畑の学校」と題した講習会を4月24日に開催しました。「セルトレイでの育苗」について、生活課事務所前で講師に佐藤亨氏を招き、種まきなどの要領を学びました。

第1回畑の学校はコロナ禍で、少数での開講となりましたが、今年度は残り2回計画しております。女性部能代支部では事態終息を願いつつ、女性部の輪と交流をより一層深めるため次回以降多数のご参加をお待ちしております。

## 支店を拠点とした協同活動の取り組み

「支店を拠点とした協同活動」の取り組みは5年目を迎え、各支店が地域貢献活動や支店だよりの発行等を通して、組合員・地域住民とのふれあいの場づくり、地域との絆づくりを図っています。



各支店職員は一斉に4月6日から始まった「春の全国交通安全運動」に合わせて期間中、支店近隣で横断旗を手に歩行者優先の意識をドライバーに周知して交通事故防止を呼びかけました。

交通安全運動が始まったのが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で臨時休校が解除された日と重なったこともあり、久々に友達と会う小学生たちの元気な姿に支店職員も明るい笑顔とあいさつでお出迎え。

3日目からはこの春新一年生となった児童らが、上級生の後ろを大きなランドセルを背負って歩く姿が見られ元気な声で「おはようございます!」とあいさつしてくれました。

平穏な日常の光景も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため管内の学校が再度臨時休校となり、山谷藤里支店長は「いち早い終息を願い、地域にいつも通り子どもたちの元気なあいさつや笑い声が戻ることを願いつつ、JAとして今出来ることから地域貢献していきたい。」と話してくれました。

